祝！チャンネル登録者５０名突破とここまでの反省点と「恐怖」について

Life Chopperの皆様、ご機嫌いかがでしょうか？

ついに大台であるチャンネル登録 者５０名に到達しました。

今まで、他の誰かが作ったYoutubeの動画の視聴回数を見て、「１０００回？少ないな～見るの止めようかな」と思ったり、チャンネル登録者を数を見て「５０００人か～そんな人気無いチャンネルなんだな～」と思っていました。

しかし、動画作成者となった今、チャンネル登録者が一人増えるだけで感無量、視聴回数が１００を超えるだけで感無量。

**視点が変わるだけで世界は大きく変わる。**一人の視聴者としての視点と、動画作成者としての視点の違いに驚愕してる次第でございます。

**ただ、観客席に座っている事は安全ですが、闘技場で凌ぎを削る事、自分自身が自分自身の人生と言うゲームをコントロールしていると言う事の方が圧倒的に充実している。**

**まるで古代ローマの剣闘士、クラディエイターになったようなスリリングで爽快感に溢れる、そんな気分です。**

さて本題のここまでの反省点は２つございます：

１．Life Chopsを始めるまでに時間が掛かった

今年の６月に大学を卒業した私ですが、Life Chopsの記事は昨年の１０月から書き出していましたが、チャンネルを開設したのは今年の３月。

２．マーケティングを怠った

そして、**プロダクトマーケットフィット**。私が提供する動画（コンテンツ）に価値を感じる人（市場）が居るのか？と言う事を動画作成の早い段階でマーケティングを通して確かめなかった。

記事を書き始めてから半年後のチャンネル設立と動画２００本作成後のマーケティング開始（ソーシャルメディア）は大きな反省点です。何故なら。

Ｙコンビネーターの設立者として有名なポール・グラム氏の発言の一つに「半年商品（プロダクト）を作ってみて（コードを書く）、誰もその商品を欲しがらなかった事がある。これじゃあ、半年間ビーチに寝そべっていたのと変わらないね」「大事なのはお客さんが欲しい物を作る事。早い段階でお客さんが必要としているのかと言う事を確かめる事」と言う一つの考え方を提示しています。

もし、誰もLife Chopsに価値を感じる事が無ければ、約一年間を無駄にしたと言っても過言では無いでしょう。

何故、チャンネル開始までにこれだけの時間が掛かり、チャンネル開始後にマーケティングをしなかったのか？

「恐怖」

この一言に尽きると言う事でPart 3 でお会いしましょう。

自分が作った物を否定される恐怖。自分には能力やスキルが無いと知らされる恐怖。風前の灯火のような小さなエゴに風が吹き当たり、無となる恐怖。

では、何が恐怖と言う金縛りから私を解き放ったのか？

それは本です！…と言うのは嘘で、「今の恐怖」を飲み込む「新たな恐怖」です。

３つの組織でのインターンを経験（計１年半）し、「オフィスでは働きたくない」と血迷って、農家になろうとブドウ農家で一週間働いたが、その単調作業の過酷さから逃げ、就職しようと説明会に行ったり面接に行った結果、気が付いてしまったのです…私は「そもそも働きたくないのだ」と言う事に。

働くと言う定義ですが、誰かが作った商品サービスを売るために、学ぶ事もほとんど無く、毎日８時間以上の時間を使う事と言うように定義します。

私は一度たりとも人生で、この商品サービスを売りたい、この会社に行きたいと思った事はございません。

就職したら、人生が終わると言う気がしました。それは毎日、死んだ魚のような目をして出社して１０時間以上働いたインターンを通して得た過去の私のダイイングメッセージ。

そうです。死人であった過去の私からのダイイングメッセージの意味がやっと分かったのです！

「死にたくない（働きたくない）」そんな絶対的な恐怖によって、私はLife Chops（自分が作った商品で、めっちゃ勉強になって、時間も自由）を始める事にしたのです。